

第1294号

AFN-1294

# Timely

1994年1月17日創刊 毎週発行  
葵総合経営センターだより週刊版

2019年 12/2 (月)

## 『設備投資、高水準を維持 現状と今後の方針—財務省』

財務省が公表した設備投資の現状と今後の方針によると、企業の設備投資は引き続き高水準を維持している。30年度に高い伸びを示したのに続き、元年度の見通し(設備投資計画)も前年度実績比で全産業で8.3%、製造業で8.9%、非製造業で7.9%と高めの増加が見込まれる。

元年度の見通しで企業が前年度から「増加」させる要因として挙げたのが「省人化・省力化のための先端技術等の導入」など。一方、前年度から「減少」させる要因として挙げたのが「昨年度の大規模設備投資の反動減」など。設備投資について、今年度当初計画から現時点(9月中旬～10月中旬)で変更なしとした企業が80%程度を占めた。変更した企業は21%程度。うち「金額を増やした」企業が7%程度。

その理由は「働き方改革による職場環境の改善」や「好調な内需への対応」など。「金額を減らした」企業は12%程度。その理由は「海外経済の動向の影響を受け、一部投資を先送り」など。設備投資における今後の重点項目の内容については「情報化投資」と回答した企業が31%程度と、2年前よりも11%程度増えた。目的については「設備の更新」に次いで「省力化・効率化」と回答した企業が47%程度と多く、2年前よりも3%程度増えた。



## 『中小企業のIT投資の現況 SNSが売り上げ効果に影響』

中小企業家同友会は4～6月期の景況調査で、併せて「IT利活用に関する状況調査」を行い、942社から回答を得た。

設問一「ITの中で利用しているもの」では、「パソコン」が99.1%、「自社HP」89.0%、「スマートフォン」56.8%。「SNS」は33.4%にとどまっているが、売上高の増減別で見るとSNSを活用していると答えた会員企業は、前年同期と比べて売上高が増加した割合が高い。自社HP、メールマガジン、インターネット広告でも、同様のことが言える。

設問二「IT化の目的」では、「業務効率の向上」64.5%、「社内情報共有」49.5%、「営業、業務、財務などの情報の一貫化」48.5%。一方で「キャッシュレス化」「新規事業進出」「顧客満足度の向上」「販売促進」などの項目は低くなっているが、IT化により顧客ニーズをとらえ、企業と顧客を結びつける動きが出てきた。

設問三「IT化の課題」では、「費用対効果」51.9%となり、投資額に見合った収益が得られないケースが目立つ。続いて「社内の体制や仕組み」47.8%、「セキュリティ・情報漏えい」「投資費用」「人材不足」「社員の理解不足」と続く。ITの知識や理解がある人材を増やし、IT化への社内体制を整えることが求められる。



出典元: 日本中小企業経営支援専門家協会(JPBM) ※本記事・内容の無断転載を禁じます

21世紀を創造する中小企業のベストパートナー  
**葵総合経営センター**

〒460-0012 名古屋市中区千代田三丁目14番22号  
(葵総合税理士法人)

TEL : (052) 331-1768 FAX : (052) 332-5282

『Homepage』 <http://www.aoi-cms.com/> 『e-mail』 [aoi@aoi-cms.com](mailto:aoi@aoi-cms.com)